

認知症の方への接し方～家族・周囲の困りごと編～

驚かせない ・ 急がせない ・ 自尊心を傷つけない

事例① 運転が心配

アクセルとブレーキを
踏み間違えた



一時停止の場所で
止まらない

車に傷が増えた

車線をまたいで
走行する

例えば

本人の気持ち

「運転に自信があるのに…」
「車に乗ることが好き」
「スーパーが遠い…」 等々

家族等が運転する車に乗ってもらう

- ・ 本人の気持ちを共有しよう
- ・ 同乗することにより、自分で運転したい気持ちが落ち着くことも
- ・ 何人かで分担できる環境をつくる

事前の心構えとして……

お住いの地域や家族状況、生活状況などにより、車がないと生活できない場合も多く、若い頃から、車がなくなったときの生活をイメージしておきましょう。家族で話し合っておくことも大切です。

運転免許証の自主返納

京都府警察→https://www.pref.kyoto.jp/kotsuanzen/support_kyogikai.html

高齢運転者の免許更新手続きは？

令和4年5月13日に道路交通法改正により更新方法が変わりました

運転技能検査

75歳以上で過去3年間に信号無視などの一定の違反歴がある方は、運転技能検査に合格しなければ、運転免許証の更新を受けることができません。

認知機能検査

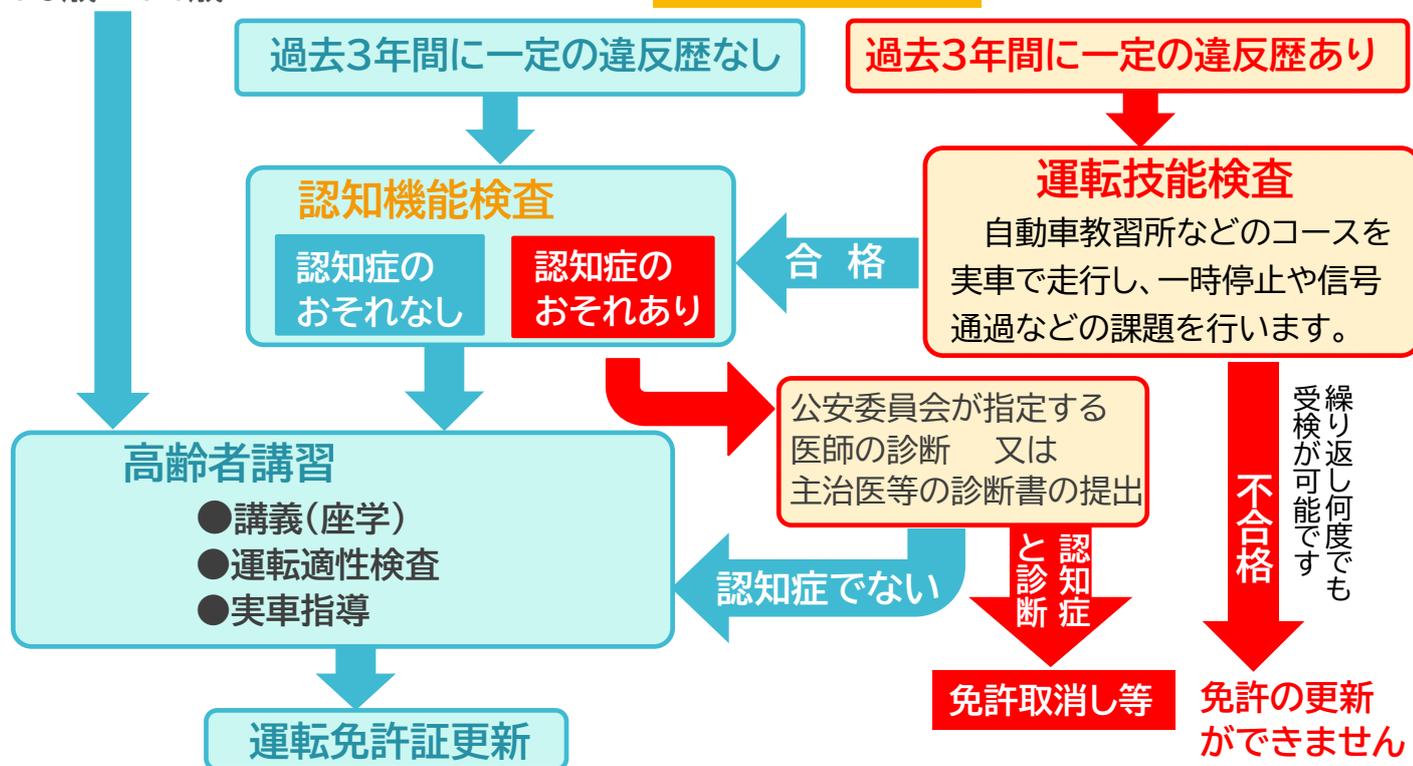
認知機能検査が従来よりも簡素化されます。また、認知症でない旨の医師の診断書を提出した場合等には検査が免除されます。

高齢者講習

認知機能検査の結果にかかわらず、実車指導を含む2時間の講習に一元化されます。(普通自動車の運転免許を保有していない方と運転技能検査の対象の方は実車指導が免除され、それぞれ1時間の講習となります。)

70歳～74歳

75歳以上



認知機能検査の内容は？

時間の見当識: 検査時における年月日、曜日及び時間を回答します。

手がかり再生: 一定のイラストを記憶し、採点には関係しない課題を行った後、記憶しているイラストをヒントなしに回答し、さらにヒントをもとに回答します。

京都府警察本部運転免許試験課 (京都市伏見区羽束師古川町 647)

【TEL】 075-631-5181

事例② 通帳やキャッシュカードを失くしたと何度も銀行に訴えに行く

通帳も印鑑も持たずに
「お金をおろしたい」と
何度も来られ、困っている



キャッシュカードを何度も
紛失し再発行している…

例えば

貴重品の置き場所を決めておく

印鑑や通帳、キャッシュカードの置き場所やしまう場所、鞆などを決めておくといいでしょう。

反論せず、一緒に探す

なくなったと思いこまれています。「一緒に探しましょう」と共感しましょう。

場合によって警察に届けましょう。

日常生活自立支援事業や成年後見制度の利用を検討する 〈 p.23 〉参照

日常的な金銭管理や財産管理について、今後の対策を検討しましょう。

★家族へのメッセージ★

- ・認知症の症状や本人の気持ちを理解しましょう。
- ・本人にできることはなるべく自分でやってもらい、できないことはさりげなく手助けをしましょう。
- ・認知症の先の見通しや接し方、介護や医療について理解する(学ぶ)機会を持ちましょう。

★周囲の方へのメッセージ★

- ・地域のつながりを生かして、ご近所同士がお互い様の気持ちで見守り、支え合いましょう。
- ・認知症の症状や接し方などを学ぶ認知症サポーター養成講座に参加して、正しい知識を身につけましょう。
- ・状態に応じた社会資源を利用することで、安心して暮らすことができます。
まずは地域包括支援センターに相談しましょう。